

平成25年 6月 定例会(第2回)
—06月12日 - 議案質疑 - 06号

○金井直樹議長 第57号議案について質疑に入ります。

質疑はありませんか。(5番 大野保司議員「5番」と言う)
5番 大野議員。

◆5番(大野保司議員) 谷中分署用地の取得についてお伺いします。

現行の谷中分署用地は、国道4号線に面したところですが、今回取得される用地はそこから奥まったところに入っております。一見すると利便性、活動についてどうなのかと思われる方も多いかと思しますので、この場所を谷中分署用地として定めて取得する理由についてお伺いいたします。

○金井直樹議長 市長の答弁を求めます。

(高橋 努市長登壇)

◎高橋努市長 ただいまのご質問につきましては、消防長から答弁申し上げます。

○金井直樹議長 次に、消防長。

(尾ヶ井 勝消防長登壇)

◎尾ヶ井勝消防長 ただいまの質問にお答えをいたします。

今の質問にございましたように、現在の位置から南西に約250メートルほど下がった位置というか、西に寄った位置に建設を予定してございます。平成15年の3月に消防本部、今の大沢にある本庁舎の建設あるいは平成18年の2月に大袋分署の建設、さらには平成22年の3月に蒲生分署を新設させていただきました。こういった3署との配置バランス等々を考えまして、消防力の低下がないような位置を選定したところでございます。

以上でございます。

○金井直樹議長 ほかに質疑ありませんか。(5番 大野保司議員「はい」と言う)

5番 大野議員。

◆5番(大野保司議員) ただいまの答弁ですと、3署との配置バランスということだったと思うのですが、その点につきましてはそれぞれの署があることについて十分合理性はあるかと思うのですが、今回の場合は国道4号線に面した分署から400メートル奥に、説明あったように入っていると。こういったことで、緊急車両が出入りするこ

とが多いと思うのですけれども、本当に合理性、効率性というのは確保されているのか。その点につきまして、再度お伺いいたします。

○金井直樹議長 市長の答弁を求めます。
〔高橋 努市長登壇〕

◎高橋努市長 ただいまのご質問につきましても、消防長より答弁申し上げます。

○金井直樹議長 次に、消防長。
〔尾ヶ井 勝消防長登壇〕

◎尾ヶ井勝消防長 それでは、ただいまのご質問にお答えをいたします。

まず、建設に当たっては、老朽化ということで40年以上の経過があったわけでございます。いわゆる谷中分署については、訓練棟あるいはこれからいわゆる高度救助隊等々の配置も考えてございまして、どうしても今の狭隘の建物ですと狭いということで、大きな、いわゆる5,000平米以上の用地ということで選考させていただきました。そんな観点から、実際には240メートルほど西に移動してございますけれども、接道面という県道あるいは国道に面して非常にバランス的にもいい場所であるというようなことも鑑みまして、一応選定したところでございます。

以上でございます。

○金井直樹議長 ほかに質疑ありませんか。(5番 大野保司議員「はい」と言う)
5番 大野議員。

◆5番(大野保司議員) 今の答弁をもう一度確認させていただきたいのですが、奥に入った理由は、現行の消防署よりも高度化、その他機能をつけ加えて広い用地を確保するとともに、緊急車両が4号国道ですと出入りしづらいところもあるので、逆に一步入ったところのほうが利便性が高いと、こういうことでよろしいのでしょうか。はっきり教えてください。

○金井直樹議長 市長の答弁を求めます。
〔高橋 努市長登壇〕

◎高橋努市長 ただいまのご質問につきましては、消防長が先ほど申しあげましたけれども、ご質問のとおり、4号国道に面していることはいいのですが、出入り等に障害がある。危険だということと、より広い場所を選定しまして、今後の訓練だとか、さまざまな消防行政を推進する上で必要な用地を確保するためには、西に250メートルぐらい入りますけれども、そちらのほうで十分な用地を取得可能だということで選定をさせていただきました。以上です。

○金井直樹議長 ほかに質疑はありませんか。
〔「なし」と言う人あり〕

○金井直樹議長 第58号議案について質疑に入ります。
質疑はありませんか。(5番 大野保司議員「5番」と言う)
5番 大野議員。

◆5番(大野保司議員) 出羽地区センターの設置の場所を変更するということが本件条例の頭に入っておりますが、この場所を選定するに当たりましては地元からのさまざまな検討がなされた上で選定されたと同っております。この場所になった経過と、あわせて地元からその際、さまざまな要望が出ているかと思うのですけれども、その要望の検討状況についてお伺いいたします。

○金井直樹議長 市長の答弁を求めます。
〔高橋 努市長登壇〕

◎高橋努市長 ただいまのご質問につきましては、協働安全部長から答弁申し上げます。

○金井直樹議長 次に、協働安全部長。
〔荒井隆之協働安全部長登壇〕

◎荒井隆之協働安全部長 それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

新たな出羽地区センターの建設に向けては、平成17年7月に新たな出羽地区センター建設の早期実現についてということで、出羽地区4団体より要望がなされまして、18年4月、市から出羽地区センターコミュニティー推進協議会会長へ建設候補地の検討について依頼をしてきたところでございます。その後、地元自治会連合会出羽支部、出羽地区コミュニティー推進協議会の皆様を初め関係団体様の皆様25名で組織された出羽地区センター建設検討委員会において、平成18年10月から平成21年8月までの間、9回にわたり慎重かつ熱心に検討が進められてきております。

その主な経過でございますけれども、建設検討委員会では地区の特性を踏まえ、最初は地区内を七左町、新川町、大間野町ブロック、谷中町ブロック、宮本町ブロック、神明町ブロック、その他ブロックの5つに区分し、候補地に係る意見聴取等がなされたようでございます。その後、具体的候補地として3カ所、出羽公園周辺、県立越谷総合技術高等学校周辺、元施設敷地内または周辺の3案に絞り込みがなされ、立地条件等さまざまな観点から検討が進められたと同っております。こうした検討を重ねる中で、建設検討委員会としての意見集約がなされ、出羽公園内もしくはその周辺に新たな地区センターの建設をお願いするとして、平成20年6月19日、出羽地区センター建設に関する回答書が市長に提出されたところでございます。市といたしまして

は、この回答書の趣旨を尊重するとともに、具体的な候補地の検討を行う中で、出羽公園が都市計画公園として国庫補助金事業を活用し、整備した経過があり、当該公園施設機能上の諸問題から、公園内に建設することは難しい状況がございました。そのため、公園周辺で立地条件を考慮して、候補地を3カ所選定いたしまして、建設検討委員会等のご意見等を伺い、優先順位をつけていただき、このことを踏まえ、市と地権者との協議を経て、現在の位置となりましたのが経過でございますので、ご理解を賜りたいと存じます。

次に、この建設検討委員会の建設候補地に関する回答の中で、附帯要望という形で幾つか要望が出されたところでございます。この中身につきましては、検討委員会の際、市側もオブザーバーという形で出席した中で、さまざまなご意見等々もお話しさせていただいたところでございますけれども、最終的に文書として附帯要望をお渡しされたものにつきましては、現施設を交流館として存続していただきたい。さらには、現施設について老朽化が進んでいるということで、耐震化ですとか冷房空調の整備ですとか、さまざまな改修の整備をお願いしたいということ。それから、宮本町、神明町地区の住民への利便性を配慮するために交流館を建設してほしい。さらには、倉庫は別棟で建設していただきたい。さらに、駐車場の台数をふやしていただきたい。それから、バス路線の整備に配慮いただきたい。それから、JR武蔵野線の高架化をしていただきたいというような7点の附帯要望というものが出されております。これらにつきましては、極力努力はさせていただきますけれども、はっきり言ってできないこともありますし、相手があることでもございますし、あくまでも大型地区センターをつくっていくということが大前提ということで、建設候補地の回答が主眼として受けとめさせていただきますところでございます。

さらに、これらの進捗状況につきましてでございますけれども、進捗状況というか、その後の話でございますけれども、現地区センターの跡地の交流館化につきましては、現在その老朽化、さらにはこちらにつきましては現地区センターの敷地がその72%が越谷市農業協同組合の所有になっておりまして、こちらとの借地賃貸契約の関係もでございます。そういったことから、JA越谷におかれましてはその土地利用計画等々が予定されているということもお伺いしている中、所有者との協議を進めているところでございますので、ご理解を賜りたいと思います。以上でございます。

○金井直樹議長 ほかに質疑ありませんか。(5番 大野保司議員「5番」と言う)
5番 大野議員。

◆5番(大野保司議員) 本件決定に関しましては、ほかの地区でもいろいろ大変だとは思いますが、出羽地区も広うございまして、3カ所の候補地に絞ったときに出羽公園周辺は10票、それから県立総合技術高校周辺に3票、現在の今お話がちょっとあった施設については一番多かったと、これが11票ということで、現行の場所にできない

かなという票だったのだけれども、土地のどこがいのだろうということを再度話し合った結果、附帯要望をつけ、遠くなる皆さんについては泣く泣く出羽公園周辺で一本化してやろうというようなことになったやに聞いております。

そういった中で、今のお話の中の附帯要望の中の特に現地区センターの交流館化と、それから将来的にはございますが、現在の地区センターよりもさらに北部から見ると4号バイパスがあって、武蔵野線があって、その先、その南側に今度地区センターができるわけですね。その4号バイパスを渡って武蔵野線を越えなければいけないところにも1万人以上の住民がいるわけで、その人たちから言うと、非常に自転車で行くのは遠いし、歩いては行けない。車でなければ行けないと、こういうような厳しい状況なので、将来的にはぜひ交流館を建設してほしいという要望がございます。

それから、現にもうことしのうちにできるわけですから、少なくとも北部のほうからも行きやすいバス路線を整備してほしいというようなところが7つの中でも強い声として出ているわけで、その検討の経過、セットで物を見ていると思いますので、どうなっているのか、再度お尋ねしたいと思います。

○金井直樹議長 市長の答弁を求めます。
〔高橋 努市長登壇〕

◎高橋努市長 ただいまのご質問にお答えいたします。

地元でいろいろと経過はありましたけれども、現在提案している位置に設置をするということで合意をいただいて、今回その設置場所等について条例改正をするためにご提案申し上げたわけでございますので、既に建設ももう着々と進んでおりますので、ぜひ場所についてはご理解をいただきたいと存じます。そのほかのことについては、いろいろご要望がありましたけれども、その件については慎重に受けとめ、また十分検討させていただきます。以上です。

○金井直樹議長 ほかに質疑ありませんか。
〔「なし」と言う人あり〕